

飽海郡神宮寺、西濱^ニ兩石^ス鑱^ツろく、上古の寺
地ハ吹浦川の^{川筋今ハ}古^ノ磐^ノ石^ノ南^ニにありて西濱の上
玄火の爲メ焼れ——と云傳へ傳へ瓦の焼
多クあり地利^ハ至^ニ史^ニは^ハ有^ニ合^ニに後社地の北隅
は後——其長年中又今のち地へ移を——と
北隅の地名を今光勝寺といふ、其社の
神を寺とり——光勝寺あり——處今吹浦
材の荒院光勝寺ハ神を寺の昭なり——と
思ひ傳へハ謬^ニ

和泉國一々大寺神社の神を寺を神鳳寺

といふ又淡路一々伊特禰神社の神を寺
を妙經寺といふ事云々思ふも久し
又麻呂社の神を寺を所と洗寺といふ予當
神を寺の本号を光勝寺と稱を——といふ
ハ右の如とある——神をの寺といふ之の字
を略を——するなり神をの太神月山の
神をかりて神をのちハ光勝寺よ——て磯
なり磯とハ光勝寺本地堂よあるて佛殿の
法を禪——て天下に名をを磯とを根え
ハ本地堂を指——て神を寺といふ又するに